

一声社：TEL03-3812-0281/FAX03-3812-0537

### 今日は何の日？

11月25日は、OLの日です。1963年『女性自身』11月25日号でこの用語を初使用。

### 閑話休題—どんだけ老けてる？①

皆さんは電車やバス等で席を譲られたことがあるだろうか？ 譲っている側だろうか？—それは、まだ私が元気一杯40歳の頃の話である。

暑い日だった。会社近くの春日通りは、いつまでも続く道路工事のため、慢性的な渋滞。そんな日に、印刷所に行くために都営バスに乗った。

高齢者の多い車内。バスに乗り込んですぐ、吊革を持って立った。さすがに車内はクーラーが効いている。汗を拭き吹き一息入れていると、何やら視線を感じる。

ふと下を見ると、目の前の座席に学生服姿の男の子。詰襟のホックを外して、ちょっとだけ粋がっているようだ。その男子が、横に立っている私の顔をちらちらと見ているのだ。

「おやじ狩り」という言葉は、既にあつた時代。しかし妙だ。おやじ狩りは、複数の少年が親父を襲って財布等を盗むのではないのか？ 目の前の生徒は1人だけ。いや、もしかすると、車内に仲間が散らばっているのか？ 降りた途端に襲われるのか？

いや、待て待て。どう見てもお金を持ってなさそうな親父を襲うだろうか？ まあ、「親父は、誰でも・とにかく気に入らん」という事もある。憂さ晴らしか！

まだこっちをちら見している。どうい

いちゃもんを付けてくるのだろうか？

「このハゲー！ 違うだろう！」と言われるのか？ いや待て。時代が合わん。

まだ見ている。そんなに気に食わんか？ 別にええよ。君に気に入ってもらうために生きてる訳ちゃうしな。素手で来る？ ナイフを持ってる？ 仲間は？ ……、その時！

突然、その少年が立ち上がった。立ってみると、僕よりも遥かに背が高い。中学生らしくバランスが悪くてひょろっとはしているが、かなり出来そう。

来た～！ いよいよ始まるのか？ 修羅場が！ かなり身構えたその時、彼は言った。声変わりしたばかりのような声で。

「どうぞ。座ってください」

(②に続く)

### この本はお勧めです！

『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎著、岩波文庫) 漫画『君たちはどう生きるか』(羽賀翔一、マガジンハウス)

漫画がヒット中。本書を読んだのは学生時代。執筆されたのは満州事変の頃。私達に「どう生きるか？」を問い掛けるこの様な真面目な作品が売れる時代に、『希望』を感じます。

### 一声社 NEWS

近々【2018年春の『保育書・教育書フェア』『春の小道具フェア』】のご案内をFAXいたします。

保育書&教育書ご担当様。来春のフェアへでは、ぜひ陳列をお願いします！

★『コトニスム・カタルシカ』(今野博信著)

鹿の一人語りエッセイ。40年前の学生寮の生態を、奈良公園の鹿の目から描く。因みに著者は米山の先輩。12月下旬新刊。